

# 新技術発表会 in大阪

～ 新技術、新工法の理解、活用促進に向けて ～

## 第10回テーマ 「道路維持修繕編」

日時

2013.10/25 金

13:00～17:00 (受付12:00～)

会場

エル・おおさか 南ホール

(大阪市中央区北浜東3-14)

TEL.06-6942-0001

定員100人

### 新技術発表会プログラム

13:00  
～13:05

お知らせ

13:05  
～13:30

「Tn-p工法」  
／アキレス(株)

13:30  
～13:55

「珪酸塩系含浸コンクリート保護材」  
／(株)エバープロテクト

13:55  
～14:20

「SLJスラブ工法」  
／オリエンタル白石(株)

14:20  
～14:30

休憩(10分)

14:30  
～14:55

「ループアーチ工法」  
／昭和コンクリート工業(株)

14:55  
～15:20

「プラスト面(素地調整1種)を形成できるハンディ  
動力工具『プリストルプリーダー』」／G-TOOL(株)

15:20  
～15:45

「プレストレスデッキ 1.0m×4.0m」  
／大商鋼材(株)

15:45  
～15:55

休憩(10分)

15:55  
～16:20

「トータク簡易排水装置」  
／東拓工業(株)

16:20  
～16:45

「SUB(座屈拘束ブレース)」  
／(株)横河住金ブリッジ

16:45  
～17:00

質問・名刺交換会

#### 申込方法

① FAX.06-6201-3928

(裏面の用紙に記載)

② ホームページ (URL)

<http://www.kentsu.co.jp>

※弊社からお申込完了と受講料のお振込み案内をお送りします

#### 参加費

無 料

#### 申込期限

2013年10月18日 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

#### 連絡先

(株)建通新聞社大阪支社「新技術発表会」係 (担当: 曾根、松本(道))

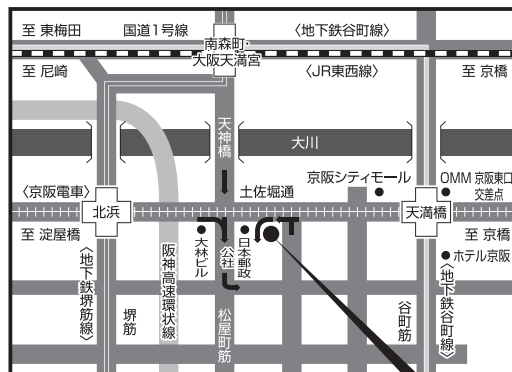
TEL.06-6201-3927

#### 継続教育

CPDS認定(申請中)

全国土木施工管理技士会連合会のCPDS認定講習(4ユニット)

#### アクセス



● 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m

● 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m

● 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m

● JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m

● 車でお越しの場合は、阪神高速東大阪線、  
法門坂出口を左折して直進、京阪東口交差点左折、西へ信号5つ目

エル・おおさか  
本館・南館

建通新聞社 大阪支社

第10回

# 新技術発表会

概要

## 道路維持修繕編

1

### Tn-p工法

アキレス(株)

本技術は、トンネル裏込補修用ウレタン注入工法で、従来は可塑性エアモルタルで対応していた。本技術の活用により、施工効率の向上、省スペース化、コストの削減が期待できる。

2

### 珪酸塩系含浸コンクリート保護材

㈱エバープロテクト

本技術は、珪酸塩コロイド粒子の特性を生かした浸透性コンクリート保護材です。従来は有機系の塗膜によってコンクリート構造物を保護してきましたが、本技術の活用により、ライフサイクルコストの低減とコンクリート構造物の長寿命化を果たすことができます。

3

### SLJスラブ工法

オリエンタル白石(株)

本技術は、鋼道路橋RC床版のエンドバンド継手による取替工法であり、従来は、ループ継手によるプレキャスト1方向PC床版、高強度軽量プレキャスト床版、プレキャスト2方向PC床版等に対応していた。本技術の活用により、施工性の向上やコストの縮減が期待できる。

4

### ループアーチ工法

昭和コンクリート工業(株)

大断面アーチカルバートを構築する工法で、2分割されたプレキャスト部材と現場打ちコンクリートを併用し、工期短縮、省人化を可能としました。頂点接合部にループ継手を採用し、剛結合によって閉じられたアーチカルバートにより高土被りに対応しました。

5

### ブラスト面(素地調整1種)を形成できるハンディ動力工具「プリストルブラスター」

G-TOOL(株)

鋼構造物の塗装前の素地調整において、ブラスト処理のような大型の機材や装置および研削材を使用せずに、ブラスト処理と同等の素地調整品質1種が得られるハンディな動力工具。

6

### プレストレスデッキ 1.0m×4.0m

大商鋼材(株)

本技術は、鋼板プレストレス強化工法によって、従来2.0mであった覆工板と同程度の厚さと単位重量で4.0mへ長スパン化した製品である。覆工板の長スパン化により、施工性の向上と、工期短縮、コスト縮減が期待できる。

7

### トータク簡易排水装置

東拓工業(株)

本技術は橋梁遊間部 簡易排水工法である。従来は伸縮装置非排水工(弾性シーリング材充てん工法)であった。本技術の活用により、漏水した雨水を充てん材で止水せず、集排水するよう変えたことで、橋の伸縮・振動の影響を受けなくなり、製品の耐久性が向上する。

8

### SUB(座屈拘束ブレース)

㈱横河住金ブリッジ

鋼橋の耐震性向上策として、従来は応力を超過する部材に対して、当て板補強を実施していたが、本技術を活用することで、当て板補強領域の減少および支点部の負反力が低減され、耐震補強工の大幅な工期短縮により工費縮減が可能となります。

10月25日(金)

新技術発表会

in大阪

受講申込書

FAX番号: 06-6201-3928

右記、記入の上  
上記FAX番号迄ご送付ください

所属 企業名・団体名

氏名

※複数の場合は参加される方  
全員をご記入ください

住所 〒

電話番号

FAX番号

E-mail